

令和 2 年度

五城目町水道事業会計決算審査意見書

五城目町監査委員



## 令和2年度五城目町水道事業会計決算審査意見書

令和2年度五城目町水道事業会計決算書及び証書類を審査した結果、別紙のとおり意見を付する。

令和3年 6月29日

五城目町監査委員 小 玉 睦 男

五城目町監査委員 荒 川 正 己

五 城 目 町 長

殿

五城目町議会議長



# 令和2年度五城目町水道事業会計決算審査意見書

## 1. 総 説

### (1) 財政の推移

令和2年度五城目町水道事業収入総額 208,715,278 円、支出総額 215,401,476 円で、6,686,198 円の損失が生じ当年度未処分利益剰余金が 81,672,904 円となった。

令和元年度と比較すると、収入総額で 5,550,861 円の減少、また、費用では支出総額で 788,298 円の減少である。

### (2) 決算の適否

収入、支出とも帳簿及び証書類と照合して慎重に審査を行なった。

その結果、計数に誤りがなかった。

### (3) 審査に当たっては、特に次の点に留意した。

地方公営企業法に定められた目的に添う運営をされたかどうか。

## 2. 各 説

### (1) 貸借対照表

**【資産の部】** 3,153,186,420 円

1. 固定資産 2,541,895,274 円

前年度末残高 4,673,875,974 円に自己資金による構築物等 建設仮勘定からの増加 13,818,251 円と除却額 4,669,500 円の減少で当年度末の残高は 4,683,024,725 円となった。

また、減価償却累計額は 2,141,129,451 円で、当年度末の償却未済高は 2,541,895,274 円となった。

2. 流動資産 611,291,146 円

年度末預金 598,783,355 円に未収金 6,324,763 円（営業未収金 5,710,171 円、営業外未収金 614,592 円）、貯蔵品 6,183,028 円を加え流動資産は 611,291,146 円となった。未収金の早期回収に努めること。

なお貯蔵品 6,183,028 円は、実地棚卸による先入先出法の評価によるものである。

資 産 合 計 3,153,186,420 円

**【負債の部】** 1,573,235,711 円

1. 固定負債 881,349,012 円

(イ) 企業債 881,349,012 円

前年度末残高 991,090,239 円より期末に翌年度償還額 109,741,277 円を減じて流動資産へ振替えて固定負債は 881,349,012 円となった。

2. 流動負債 125,140,716 円

(イ) 企業債 109,741,277 円

前年度末残高 107,801,055 円は当年度の償還により 0 円となり、期末に固定負債より翌年度償還額 109,741,277 円を加えて合計 109,741,277 円となった。

(ロ) 未払金 8,458,925 円

原水及び浄水費 3,625,923 円、配水及び給水費 660,242 円、業務及び総係費 514,580 円、その他営業外費用 388,400 円、消費税 2,795,100 円、その他未払金 474,680 円の合計 8,458,925 円である。

(ハ) 預り金 5,807,514 円

下水道会計等への預り金未返済金は 5,807,514 円である。

(ニ) 引当金 1,133,000 円

翌事業年度の 6 月に支払われる賞与のうち当事業年度に期間対応する分は 1,133,000 円である。

3. 繰延収益 566,745,983 円

(イ) 長期前受金 823,674,426 円

前年度末残高 823,674,426 円に増減は生じなかった。

(ロ) 長期前受金収益化累計額 △256,928,443 円

前年度末残高 233,436,269 円に、当年度収益化額 23,492,174 円を加え合計 256,928,443 円となった。

負債合計 1,573,235,711 円

【資本の部】 1,579,950,709 円

1. 資本金 1,106,319,871 円

(1) 自己資本金 1,106,319,871 円

固有資本金は前年度末残高に 608,691,721 円に増減は生じなかった。繰入資本金は前年度末残高 461,232,603 円に簡水統合事業の企業債元金償還等に係る一般会計からの繰入金 24,684,211 円を加え 485,916,814 円となった。繰入資本金は前年度末残高 11,711,336 円に増減は生じなく、自己資本金計が 1,106,319,871 円となった。

(2) 借入資本金 0 円

前年度末残高 0 円に増減は生じなかった。

資本金合計 1,106,319,871 円

2. 剰余金 473,630,838 円

(1) 資本剰余金 104,989,680 円

(イ) 国庫（県）補助金 1,472,041 円

前年度末残高 1,472,041 円に増減は生じなかった。

(ロ) 工事負担金 832,712 円

前年度末残高 832,712 円に増減は生じなかった。

(ハ) 受贈財産評価額 0 円

前年度末残高 0 円に増減は生じなかった。

(ニ) 寄附金 33,930 円

前年度末残高 33,930 円に増減は生じなかった。

(ホ) その他資本剰余金 102,650,997 円

前年度末残高 102,650,997 円に増減は生じなかった。

(2) 利益剰余金 375,327,356 円

(イ) 減債積立金 176,538,551 円

前年度末残高 176,538,551 円に増減は生じなかった。

(ロ) 建設改良積立金 110,429,703 円

前年度末残高 110,429,703 円に増減は生じなかった。

(ハ) 未処分利益剰余金 81,672,904 円

当年度純損失 6,686,198 円に前年度繰越利益剰余金 88,359,102 円を加え、  
81,672,904 円となった。

剰余金 合計 473,630,838 円

資 本 合計 1,579,950,709 円

負債資本合計 3,153,186,420 円

## (2) 損益計算書

### 1. 収益の部

給水収益 170,812,700 円、その他の営業収益 1,213,906 円、営業外収益 36,435,524 円  
で収益合計は 208,715,278 円である。

### 2. 費用の部

原水及び浄水費 51,059,621 円、配水及び給水費 13,218,659 円、業務及び総係費  
9,484,054 円、減価償却費 119,230,098 円、営業外費用 21,982,277 円で費用合計は  
215,401,476 円である。

### 3. 当年度純利益

その結果、当年度は 6,686,198 円の赤字となった。

(収益合計額－費用合計額)